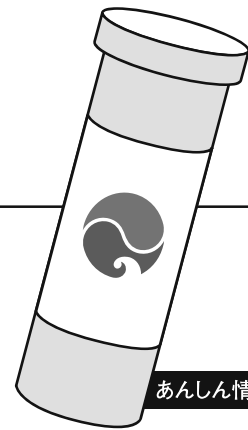


あんしんへの備えです。

『あんしん情報キット』を
冷蔵庫に保管しましょう！

浜松市では、普段からの見守りや緊急時に、速やかな対応がとれるよう、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、障がいのある方などを対象に『あんしん情報キット(緊急医療情報キット)』を配布いたします。



あんしん情報キット

〈あらかじめご了承ください〉

- ①『あんしん情報カード』には、緊急時に活用を望む情報についてのみを記入してください。記入したことにより、情報の活用についてご本人が同意したものとみなします。あらかじめご了承ください。
- ②『あんしん情報キット』は、救助者が必要と判断した場合に活用します。ご本人やご家族の同意を得ることなく、冷蔵庫からキットを取り出すことがあります。冷蔵庫以外のところにあると、救助者が見つけにくいので必ず冷蔵庫に入れてください。また、保管されていることがわかっていても活用しない場合もあります。
- ③ 記入した内容に変更があったときは、修正してください。
- ④ 容器は、食品や飲み物を入れる保存容器ではありません。食品等の保管に使用しないでください。

1『あんしん情報キット』って？

『あんしん情報キット』は、緊急の事態に備えるために大切な情報を入れておくものです。かかりつけ医や連絡先など必要な情報を記載した「あんしん情報カード」などをキット(容器)に入れ、自宅の冷蔵庫に保管してください。緊急時、救助者が救急活動に必要と判断した場合、冷蔵庫から取り出して、「あんしん情報カード」の情報を活用するものです。

【使用例】① 本人や本人の異変に気がついた近所の方、民生委員さんなどが119番通報

もしもの事態



- ② マグネットシートが冷蔵庫に貼ってある場合、かけつけた救急隊員がキットを取り出す
- ③ 情報カードを活用して救急活動を実施



【具体的には…】

- ・ 救急隊や救急隊から情報を受け取った病院が、緊急連絡先に連絡する
- ・ 救急隊が搬送先を決めるため、かかりつけ医に連絡する
- ・ 病院が持病や服薬の状況に応じて治療を行う
- ・ 病院が本人の病状を確認するため、かかりつけ医に連絡する
- ・ 病院が本人の家族や親族の情報を確認するため、居宅介護支援事業所等や民生委員に連絡する

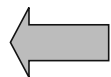
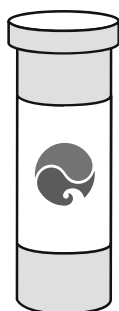
2 あんしん情報キットを活用しましょう

- ① 容器の中から、「あんしん情報カード」「シール」「マグネットシート」を取り出します。
- ② 「あんしん情報カード」に、緊急連絡先、持病、かかりつけ医など、活用を望む事項を記入します。
- ③ 「あんしん情報カード」をキット(容器)の中に入れ、冷蔵庫に保管します。
※冷蔵庫は基本的にどこのお宅でも台所にあるため、救急隊員が見つかりやすいです。また、地震等で家具が倒壊しても冷蔵庫はつぶれにくく、火災等でも燃えずに残る可能性が高いと言われています。
- ④ 「マグネットシート」を冷蔵庫のドアに貼ります。磁石なので簡単に貼りつけられます。
- ⑤ 「シール」は、次の使い方を参考にご活用ください。

【参考例】

『あんしん情報キット』に入らない物(例えば、お薬手帳、健康手帳など)は、別の容器に入れてシールを貼り、キットと同じ冷蔵庫に保管します。

3 あんしん情報キットに入れておくといいもの

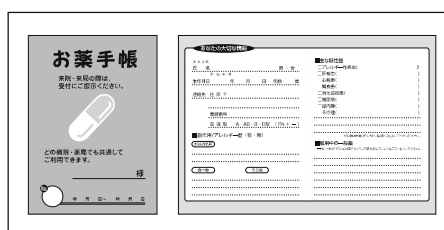
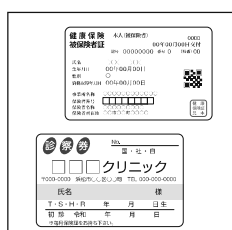


あんしん情報カード	
氏名	姓 名 姓・名
性別	男 女
生年月日	年 月 日
住所	〒 市 区 町 丁目 番 号
電話番号	市外 市内
緊急連絡先	氏名 住所 電話番号
持病	病名 薬名 量 回数
かかりつけ医	氏名 住所 電話番号
その他	



あんしん情報キット

あんしん情報カード(必ず入れてください)



保険証の写し、診察券の写し、お薬手帳の写し等

※ 容器の中には、現金や通帳、印鑑、鍵などの貴重品は絶対に入れないでください。

4 見守りのある関係づくり

- ① 『あんしん情報キット』の活用について、万が一の事態に備え、ご家族やご近所の方と話し合しましょう。
- ② ご近所同士の見守りや助け合う関係をさらに深めましょう。
- ③ 日常生活を安心して暮らせるようにお互いが協力しましょう。

浜松市 高齢者福祉課 TEL 053-457-2789
障害保健福祉課 TEL 053-457-2034